

レッツ チャレンジ! 女性副知事サミット in 京都

大分県消費生活 男女共同参画プラザ開所記念
講演会

日時：平成 15 年 10 月 18 日 (土) 13:00 ~
場所：京都府民総合交流プラザ (京都テルサ)
内容：パネルディスカッション

日時：平成 15 年 4 月 14 日 (月)
場所：大分県消費生活・男女共同参画プラザ「アイネス」
内容：講演 「女性のチャレンジと男女共同参画」
岩男壽美子氏 (男女共同参画会議議員、武蔵工業大
学教授)

コーディネーター：
名取はにわ氏 (内閣府男女共同参画局局长)
パネラー：安藤よし子氏 (滋賀県副知事)
吉良史子氏 (高知県副知事)
稗田慶子氏 (福岡県副知事)
佐村知子氏 (京都府副知事)

参加者：約 300 名

メッセージ紹介 大西珠枝 (岡山県副知事)

参加者：約 1,000 名

.....
構造改革に女性のチャレンジが不可欠であること、世界の
中でも日本の女性の活躍度は極めて低いこと、企業などの組
織活性化の鍵は女性のチャレンジにあることなどの説明ととも
に、女性のチャレンジ支援の必要性について話されました。さ
らに、具体的支援の方向として積極的改善措置の推進、企
業におけるチャレンジ支援策などが紹介されました。

男女共同参画社会の実現に向けて府内各地で活動する
17 の女性団体に組織された実行委員会を中心に、「第15
回 KYO のあけぼのフェスティバル 2003」を開催しました。特
に本年度は、女性のチャレンジを考える企画をということで、
全国の女性副知事の参加による「レッツ チャレンジ! 女性
副知事サミット in 京都」を開催しました。

参加者の声：

- 今の社会を活性化するためには女性のチャレン
ジが必要だということに共鳴し、自分も何かチャ
レンジしたいという気持ちになった。

担当者の声：

- 国の新しい取組をいち早く知ることができたこと
で、参加者のやる気呼び起こすことができた。

各府県の特徴や女性施策などを紹介しながら、「男女それ
ぞれが能力や意欲に応じて自分らしい生き方を選ぶことがで
き、そしてその選んだ生き方や他人を認めあうことができる男
女共同参画社会をどう作っていくのか」「女性のチャレンジに
よ社会が変わる」「男女共同参画を推進するためには地域
に根ざした都道府県の役割が重要」などと、会場も一体とな
った意見交換がなされました。

最後に、全国の女性副知事 5 名連名によるアピール宣言
を行い、男女共同参画社会の実現と府県相互の連携を誓い
ました。



福島県市町村男女共同参画推進セミナー

日時：平成 15 年 8 月 28 日 (木)
場所：福島県男女共生センター
内容：講演 「妻が僕を変えた日 ~地域づくりと男女共同参画について~」
広岡守穂氏 (中央大学教授)

パネルディスカッション

「女性のチャレンジは地域の元気」

パネリスト：

越後啓子氏 (NPO カルチャーネットワーク理事)
菊田久光氏 (三春町教育委員会)
水嶋いづみ氏 (福島市男女共同参画情報紙「しのぶぴあ」編集員)

参加者：約 200 名

市町村にとって身近なテーマである地域づくりなどの視点から、男女共同参画の理念を啓発することを目的に、市町村男女共同参画推進セミナーを企画し、県内市町村の男女共同参画担当課長や職員など約 200 人が参加しました。

広岡氏の講演では、子育ての体験を通して子育ての大変さを男性も認識して協力することが大切であること、そして、現在国が行っている女性のチャレンジ支援を推進するためには、男性の意識改革が重要であることを指摘しました。

シンポジウムでは、パネルディスカッションによる地域での元気な活躍状況等について報告がありました。

参加者の声：

- 広岡氏の自分育ての話に大変感銘しました。
- チャレンジしている妻を立派に支えている話には関心しました。



日本まんなか共和国女性サミット~ 2003 岐阜 ~

日時：平成 15 年 11 月 1 日 (土), 2 日 (日)
場所：飛騨・世界生活文化センター
内容：記念講演 「明るい未来へみんなでチャレンジ」
岩男壽美子氏 (武蔵工業大学教授・慶應義塾大学名誉教授)
女性リーダーの意見発表会・意見交換会、分科会において、「女性のチャレンジ支援」をテーマの一つとした。

参加者：延べ約 600 名

「日本まんなか共和国女性サミット」は、福井、岐阜、三重及び滋賀の 4 県が、連携して男女共同参画を推進するための取組として開催している事業です。

記念講演においては、女性のチャレンジ支援の必要性、種類、各分野の現状と支援策の方向等について、講師のご経験を交えながら、分かりやすく丁寧にお話ししていただきました。

参加者の声：

- これからは女性も色々な面でチャレンジしていくことが大切だと思いました。



ふくい男女共同参画実務責任者セミナー 組織における女性のチャレンジ支援

日時：平成15年11月19日(水)13:30~16:00
 場所：福井県生活学習館 多目的ホール
 内容：基調講演 「これからの人材育成と活用～一人ひとりの能力を最大限発揮させるために～」
 河野真理子氏(チャレンジ支援ネットワーク検討会委員、
 ㈱キャリアネットワーク代表取締役会長)

分科会

「企業での男女共同参画の取組みについて」
 「セクシュアル・ハラスメント対策について」
 男女共同参画によるまちづくり」

参加者：約160名

福井県では、男女共同参画社会の実現には家庭や地域、職場等において、行政・企業・民間団体等が連携して取り組むことが重要であると考え、行政・企業・民間団体等のあらゆる組織において、男女共同参画に対する理解と取組み意識の浸透を図り女性が組織の中でその能力を十分に発揮できるよう、管理・研修・雇用等の実務責任者向けに「ふくい男女共同参画実務責任者セミナー」を開催しました。

対象：市町村等の総務、男女共同参画、商工労働担当の部課長、事業所の人事労務担当部課長、民間団体等の人事、総務担当部課長、自治会長



担当者の声：

- 男女共同参画社会の実現にとって、女性が活躍できる環境を整えることは重要であり、また、企業等が業績を伸ばしていくには、女性の能力を発揮させることが大切であることを十分理解してもらえたと考えています。

パレアフエスタ2003 あなたのチャレンジが未来を拓く ～女性のチャレンジは、男性の元気、社会の活気～

日時：平成15年12月6日(土)、7日(日)
 場所：くまもと県民交流館 パレアホール
 内容：基調講演
 「女性のチャレンジ～上へ、横へ、そして再び～」
 坂東真理子氏(前内閣府男女共同参画局長)

ワークショップ等

女性のチャレンジ支援に関する先導的な34もの
 ワークショップ等を実施

参加者：約2,800名

参加者の男女共同参画への意識を高め、女性はその意欲と能力に応じて再就職等の雇用や起業、NPO、農林水産、まちづくり、地域社会、行政、国際等の各種分野の活動に積極的に参画していくことを可能とするため、独立行政法人国立女性教育会館と共催により「パレアフエスタ2003」を開催しました。

個々のプログラムでは、「はたらく女性のための講演会」、「一緒に築こう楽しい我が家」、「プレ・パママ教室」、「コミュニティビジネスを考えよう」、「主婦からのチャレンジ」、「地域リーダーとしてのチャレンジ」、「女子学生チャレンジ支援就活入門セミナー」、「命を育む食と農」などのワークショップを実施し、基調講演に沿った上へのチャレンジ、横へのチャレンジ、再チャレンジを提案できました。



参加者の声：チャレンジ精神で常に一步踏み出す勇気が出た。

- 再就職に関する話がとても実践的だった。
- 企業における男女共同参画の意識、取組みが分かった。
- このような企画はぜひ頻繁に行ってほしい。

担当者の声：

- 今回のパレアフエスタは、男女共同参画センターだけでなくパレアの各センター、男女共同参画社会をめざす団体、NPO団体、ボランティア団体、国の機関等もテーマに沿った企画、運営を行い、パレアの複合機能を活かし女性のチャレンジ支援が一步進んだと思われる。

第1回奈良県男女共同参画県民ミーティング 「みんなで創ろう 輝く未来ははじめの一步 私にできること」

日時：平成15年9月14日(日) 13:00～16:00
 場所：斑鳩町文化振興センター(奈良県生駒郡斑鳩町)
 内容：基調講演 「みんなで創ろう 輝く未来」
 久保真季氏(内閣府男女共同参画局推進課長)

パネルディスカッション 「はじめの一步 私にできること - 男女共同参画社会の実現に向けて」

第1部 活動発表

パネラー：

小城利重氏(斑鳩町長)
 遠山健氏(斑鳩町立あわ保育園保育士)
 松元恭子氏(いこま育児ネット代表)

コーディネーター：

杉井潤子氏(奈良教育大学助教授)

第2部 意見交換

参加者：約210名

■ 男女共同参画県民ミーティングについて

県民の意見を取り入れながら地域に根づいた男女共同参画を推進することを目的として、広域市町村圏を対象に、県・県男女共同参画県民会議の主催により開催するものです。県内を6地域に分け、年間2地域で実施します。(平成15年度～)

■ 第1回ミーティングの概要

基調講演では、女性のチャレンジ支援策について、幅広い分野で女性の活力を生かす環境整備やネットワークづくりの現状と目標が説明されました。

続くパネルディスカッション第1部では、小城町長が先進的に取り組まれてきた斑鳩町の男女共同参画施策について、遠山さんが男性保育士になった経緯と体験について、松元さんが地域で取り組んでいる育児サークルの活動について、それぞれの立場から発表されました。第2部では、基調講演やパネラーの発表などに関して多くの質問や意見が寄せられ、活発な意見交換が行われました。



第1回 奈良県男女共同参画県民ミーティング

みんなで創ろう 輝く未来 はじめの一步 わたしにできること

▶ とき 平成15年9月14日(日) 13:00～16:00
 ▶ ところ 斑鳩町文化振興センター「いかるがホール」小ホール
 生駒郡斑鳩町舞留10-6-43 TEL 0745-75-7743

家庭や地域・職場・学校など、様々なところで男女共同参画を推進するために、私たち一人ひとりに何が出来るか、みんなとともに考え、語りあひましょう。

▶ 内容
 12:30 受付・開場
 13:00 開会 あいさつ 奈良県知事 橋本善佳
 13:05 基調講演『みんなで創ろう 輝く未来』
 内閣府男女共同参画局推進課長 久保 真季さん
 14:15 パネルディスカッション
 『はじめの一步 わたしにできること』
 パネリスト(五十音順)
 ・斑鳩町長 小城 利重さん
 ・斑鳩町立あわ保育園 保育士 遠山 健さん
 ・いこま育児ネット 代表 松元 恭子さん
 コーディネーター
 奈良教育大学 助教授 杉井 潤子さん
 15:15 参加者(会場)との意見交換
 16:00 閉会

▶ 申込・要約集あり
 ▶ 託児ルームあり

会場申込方法
 ◎9月15日までにはお申込みください。Eメールで住所・氏名・電話番号
 ◎住所が不明な場合は、〒690-8901(住所不詳)
 TEL 0742-32-1101(内線2227) FAX0742-24-5403
 Eメール 6900@pref.nara.jp

会場案内図

【主催】奈良県、奈良県男女共同参画県民会議【協賛】大和郡山月、生駒市、平野町、三郷町、斑鳩町、香梅町、上牧町、王寺町、河合町

参加者の声：

- 国のチャレンジ支援策の概要がよくわかり 未来の子どもたちの扉が大きく開くのではとうれしく思った。(40代女性)
- 行政と民間がネットワークを作り、まず情報交換することが男女共同参画を進めるために重要だと思った。(20代男性)
- パネラーがそれぞれの立場での取り組みを分かりやすく発表されており、テーマについて身近に感じられた。(40代男性)
- 地域のカラーが出ていてよかった。(50代女性)

名古屋大学男女共同参画推進シンポジウム

日時：平成 15 年 9 月 29 日（月）
 場所：名古屋大学シンポジオン・ホール
 内容：基調講演 「女性のチャレンジ支援について～地域におけるチャレンジ・ネットワーク」
 名取はにわ氏（内閣府男女共同参画局長）

パネルディスカッション 「産学官各分野における現状の課題と産学官連携に期待すること」

パネリスト：

- 近藤薫氏（愛知県民生活部社会活動推進課男女共同参画室長）
- 横田啓子氏（名古屋市総務局総合調整部男女平等参画室長）
- 柴山忠範氏（愛知県経営者協会専務理事兼事務局長）
- 橋本新氏（連合愛知調査・広報局長）
- 田村哲樹氏（名古屋大学男女共同参画室）

参加者： 約 70 名

名古屋大学では平成 14 年度に引き続き、第 2 回めの男女共同参画社会推進シンポジウムを、276名の参加者を得て、開催しました。



はじめに、松尾稔名古屋大学総長より本学の男女共同参画推進の流れとシンポジウム開催主旨の紹介があり、伊藤正之名古屋大学副総長から、男女共同参画推進専門委員会・男女共同参画室の紹介と、名古屋大学の現在の取り組みについての説明がありました。

続いて、内閣府男女共同参画局長 名取はにわ氏から、「女性のチャレンジ支援について～地域におけるチャレンジ

ネットワーク～」と題して、内閣府が進めているチャレンジ支援の概要と今後の取り組みについての基調講演があり、その後のパネルディスカッションでは、各パネリストから各機関の男女共同参画に関する現状と取り組みや、男女共同参画のあり方等についての意見の発表の後、男女共同参画に関する産学官連携の意義について討論しました。



(2003 年 9 月 30 日中日新聞より)



パネルディスカッションの最後には、コーディネーターの金井篤子名古屋大学総長補佐から、男女共同参画を推進するための産学官連携フォーラム創設を検討する準備会を立ち上げることの提案があり、パネリスト全員一致で承認されました。



今後このシンポジウムを契機として、男女共同参画産学官連携フォーラムを地域で立ち上げたい考えです。

このシンポジウムの詳しい内容については、名古屋大学男女共同参画室ホームページをご覧ください。

(<http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/>)

参加者の声：

- パネリストの発言に非常に共感を覚えた。大学の教官がこれらの考え方を本にして広げ発表してくれるとよい。

担当者の声：

- 今回のシンポジウムは、学外からも参加できるオープン形式としたところ、近隣の大学、県内の自治体関係者、企業の人事部などからの参加が70名を超え、男女共同参画についての社会的な関心の高さがうかがわれました。

大分県男女共同参画チャレンジ支援事業 「チャレンジデー」

日時：平成15年11月12日(火)～11月17日(月)
場所：大分県消費生活・男女共同参画プラザ(アイネス)
内容：シネマ・フォーラム

映画「ショコラ」上映・パネルディスカッション
ワークショップ(県民による自主企画(公募))
・「わたしたち、ぼくたちの男女共同参画」
ほか7企画

企画資料展「女性のチャレンジ支援」

パネル展示

(企画運営スタッフ(ボランティア)制作)

・男女共同参画社会づくりの必要性
・男性視点による女性のチャレンジ支援
・行政・起業による女性のチャレンジ支援 ほか
資料展示・配布

「女性のチャレンジ支援策について」、男女共同参画社会の実現をめざして」など内閣府ほか各省庁、関係機関作成のパンフレットや資料等を展示・配布するコーナーを設置、情報提供を実施。

参加者：約3,000名

男女共同参画社会の実現に向けたチャレンジ支援の一環として、大分県消費生活・男女共同参画プラザ(アイネス)において「チャレンジ・デー」を設定し、県民の意識改革や自主的な活動の促進を図るとともに、より多くのチャレンジの事例・情報を提供するためのイベントを実施しました。

また、事業効果を高めるため、アイネスで実施する県民参加行事「アイネスフェスタ2003」期間中に開催しました。

■ 併催事業

・管理監督者公開講座

「両立支援 / 共同参画型社会をめざして - ベネッセの事例 -」
(講師 ㈱ベネッセコーポレーション 金代健次郎取締役) ほか

参加者の声：シネマフォーラムは、男女共同参画事業としてはとても親しみやすい企画で、会場が一体となり熱く語り合うことができ満足しました。ワークショップも興味深いテーマの企画が多く、すべてに参加できなかったことが残念でした。

担当者の声：

■ 4月オープン以来、県民手作りによる初のビッグイベントとして開催しましたが、期間中約3,000名の方々に参加していただき、県民のみなさんに広愛される施設を目指すという所期の目的を達成することができました。



石川県男女共同参画地域トップセミナー

日時：平成15年11月18日(火)
場所：フォーラム七尾 多目的ホール
内容：講演「地域におけるチャレンジ支援」
河崎由美氏(内閣府男女共同参画局推進課課長補佐)

パネルディスカッション

家庭・職場・地域における男女共同参画」

パネリスト：

武元文平氏(七尾市長)
萩原扶未子氏(株ジーアンドエス社長)
戸田洋氏(株戸田組社長)
河崎由美氏(内閣府男女共同参画局推進課課長補佐)

参加者：約220名

石川県では、地域において指導的立場にある市町村、企業の幹部及び町内会・公民館等の役員の方々を対象に男女共同参画地域トップセミナーを開催しました。基調講演では、国の直近の男女共同参画推進施策である「女性のチャレンジ支援策」について、内閣府の河崎由美氏が具体例を取り入れたお話をされました。続いて、パネルディスカッションでは、七尾市男女共同参画市民ネットワーク(民間団体)による市民の連携・まちづくりへの積極的な参画、情報の提供など、地域での取組や女性のチャレンジしやすい環境づくり、社会参画の意欲を高めることの重要性等が活発に討論され、また、会場との意見交換も行われました。総括では、企業、地域行政にかかわらず組織の活性化というキーワードに男女共同参画という視点を取り入れた活動を進めていくということで締められました。



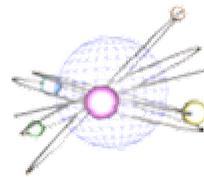
参加者の声：

- 男女を意識しない人としての視点や対応が大切と感じました。仕事に対する意識やチャレンジ意欲を男女共に高める職場づくりを考えたい。(40代男性)
- 地域では具体性となると難しい面もあるが、徐々に女性の発言力、元気がでてきて地域が活性しはじめています。(60代男性)
- これからの重大なテーマであり、トップセミナーに相応しくチャレンジへの重要性も大変分かり易く、今後活かせるセミナーでした。(30代女性)
- 女性の能力活用の実践紹介があり、チャレンジしておられる姿に地域での今後の見通しが明るく感じました。(50代女性)

担当者の声：

男女共同参画社会は、少子高齢化、グローバル化など我が国の社会経済情勢が急速に進展する中で、「大変重要なテーマであること」。「女性の能力が十分活用されていないのでどのようにして参画する機会を創るか」。「男性の仕事への負担が過剰であり、ゆとりある生活をどのように創るか」。など、「現実の中でどのように男女共同参画を地域活性化に繋げていくか」ということを念頭に、できるだけ、地域に影響のある指導的立場の皆様が理解しやすいように努力したつもりです。

会議運営にあたっては、市民ネットワークの皆さんには、企画運営会議をはじめ当日のセミナー開催支援に積極的にかかわっていただきました。また、会場周辺の市町村では、現在、合併の準備が進んでいますが、市町村によって男女共同参画の取組に差違があることから、当セミナーの参加者を広く募集することで、男女共同参画への理解を深める機会を提供させていただきました。



Challenge Challenge

びゅあ総合20周年記念男女共同参画フェスティバル

日時：平成15年11月23日(日)

場所：山梨県立総合女性センター

内容：記念講演

暮らしの構造改革は男女共同参画で、

～女性のチャレンジは男性の元気、
社会の活気！～

岩男壽美子氏(男女共同参画会議議員・武蔵工業大学教授・慶応義塾大学名誉教授)

参加者：約200名

当センターの開館20周年記念事業として「女性の自立・社会参加から男女共同参画へ共に生きて輝いて～」をテーマに男女共同参画フェスティバルを開催しました。

本県においても、政治・経済への女性の参画レベルはまだ低く、女性の能力が十分活かされていないのが現状です。そこで、女性がチャレンジすることは男性にも、次世代にもメリットをもたらす、社会経済の活性化につながり、一人ひとりが豊かさを感じられるような社会になることをより多くの県民に理解してもらおうと、記念講演で岩男壽美子氏に「女性のチャレンジ支援策」についてわかりやすくお話していただき、女性のチャレンジ支援の必要性について提言していただきました。

雇用・起業・NPO・農業・研究・各種団体・地域・行政等、新たな分野で女性が積極的に政策・方針決定に参画し、活動の場をさらに広げていくためには、数値目標を設定し、進捗状況の公表や企業での取組事例や身近なチャレンジモデルの紹介などの情報提供がますます大切になっていくと結ばれました。



参加者の声：

- 国が現在取り組んでいる支援策をお聞きし、今、なぜ構造改革が必要か、そのためには女性は何をしなくてはならないかなどについてよくわかりました。
- 「チャレンジ」の大切さを感じ、自分にあったチャレンジをしていきたいと思いました。
- 私の娘は、今研究分野で仕事をしています。夫はエンジニアです。せっかくキャリアを積んだのに子育てと仕事の両立に悩み、仕事を辞めなければならなくなりました。延長保育と学童保育を利用しても時間的にも無理なのです。二重保育が必要なのです。なんとか仕事を続けさせたいです。
- 非常に現実的なお話を聞くことができました。
- 女性にチャレンジ精神があっても行政や地域、大企業で男性が拒んで歓迎しないのが大きな原因だとも思います。雇用の年齢制限は、中止し、実力と能力のある人であれば再就職できるようにしてほしいです。
- 男女共同参画社会を実現するためには、私たち一人ひとりができることから真剣に挑んでゆくことの大切さを再確認いたしました。
- 私は地方公務員ですが、我が国における男女共同参画の現状についてお話いただき、今後、仕事をすすめる上で大変参考になりました。
- 省庁を超えたネットワーク化はぜひ実のあるものにしてほしいです。



担当者の声：

大学生から70代まで幅広い世代の方々に「女性のチャレンジ支援策」について知っていただくことができました。また、大学生など若い世代や女性だけではなく男性からも質問や意見が出されたことで、男女共同参画やチャレンジ支援の必要性についての理解がより一層深まりました。

男女共同参画社会づくりに関する活動や県民の自主的な活動を応援する拠点施設として、自主事業や情報提供なども行っていきたいと思っております。